

VOA送信所（国頭村）

- 1 基地名：V・O・A送信所
- 2 所在地：国頭村字奥間・字鏡地・字桃原
- 3 返還面積：564千㎡

4 主な沿革

- ・昭和26年：放送施設建設のため強制接收
- ・昭和39年：22千㎡が返還
- ・昭和52年：500千㎡が返還され、ほぼ返還完了となる



5 接收の経緯

この施設は、国頭村赤丸岬の南端に位置し、奥間レストセンターと隣接していたが、接收前は米の特産地として知られ、水稲の他に甘藷や穀類が栽培されていた。

中華人民共和国の誕生や朝鮮戦争の勃発等、極東アジア情勢の激変の中で、対共産圏への謀略宣伝工作を目的とした放送施設（ヴォイス・オブ・アメリカ）を建設するため、米軍によって強制接收された。他に恩納村や北谷町にも関連施設が設置された。

6 返還の経緯

昭和39年に22千㎡が返還され、復帰後の昭和52年にVOAのフィリピンへの移転撤去に伴って大部分の500千㎡が返還され、ほぼ返還完了となった。その後、残りの42千㎡も返還され、全部返還となった。

7 現在の土地利用状況

返還跡地は、土地改良事業が実施されるなど、現在は農地、宅地、保全林、リゾートホテル敷地として利用されている。

返還前



昭和46年6月
(写真提供：沖縄タイムス)

奥間集落 (下記左写真提供：沖縄タイムス)



返還後



リゾート施設や土地改良事業地区
平成21年3月(写真提供：国頭村)